

ふれあい

主な内容

- 芸能音楽祭 P1
- 勝田一中「学ぶFLYデー」 P2
- 心に残る思い出 / 地元の歴史 P2
- あれや・これや / 私のたのしみ P3
- 地域のわだい P3
- わたしの散歩道 P4
- 部会だより P4
- 編集後記 P4

●発行所 ひとちなか市長堀町 3-4-1 (1中地区コミュニティセンター内) 電話 029-275-2671 ●発行責任者/大和田 敬治 ●編集/広報委員会



吟詠研究会

歌って踊って楽しんだ



Smile Best Wishes



富士山自治会



楽しい舞踊教室



勝倉自治会



ゴスペルLOVERS

芸能音楽祭

2月2日、第22回を迎えた「芸能音楽祭」が市文化会館小ホールで開催された。初参加のムード歌謡バンド「ヒマナスターズ」を加えた31団体約500人が参加した。日頃練習した成果を一生懸命発表する姿に、会場から惜しみない拍手が送られた。さらに「とても素人とは思えない」「子どもたちの無邪気に踊る姿がとてもかわいい」という声。



BLUE GUM



長堀フォークダンスクラブ



ポッピーポップ

「胡弓の調べ」に誘われて

東中根団地自治会 黒羽 裕里

風の盆「おわら節」の哀愁漂う胡弓の調べと深くかぶった編み笠に魅せられた仲間が、週2回練習してきました。初心者が多く、舞台上がるまでは緊張していましたが、一心に踊ったことで素晴らしい連帯感と感動が生まれました。たくさんの方々の協力で、無事に踊れたことに感謝いたします。ありがとうございました。



心に残るみんなとの太鼓

中根小6年 仲田 大翔

橋本先生と週に1度、学校の体育館で練習しています。6年生になって子ども会を中心に13人で始めた和太鼓、男女仲良く楽しく練習をしてここまで出来るようになりました。会場の人から「上手だったね」と言ってもらえて嬉しかったです。1人出られず残念でしたが、最高の発表が出来て、先生と仲間との思い出に残る1日になりました。



初参加「ヒマナスターズ」

青葉石川自治会 井出 英雄

同期入社の仲間と結成したこのバンドは、我々の青春時代に活躍した茨城県出身の作曲家「吉田正」の曲を中心に、市内外の施設やコミセンで演奏しています。音楽は、一瞬にしてその時代に引き戻してくれる若返りの即効薬です。我々はそう信じて演奏し、皆様の笑顔そして懐かしさの涙に接し、勇気もらっています。





朝のあいさつ〈中根小〉



先生と打ち合わせ〈勝倉幼稚園〉



自己紹介〈市毛フレンド保育園〉

勝田一中 「学ぶFLYデー」

勝田一中1年生が、母校である5つの出身小学校と7つの保育園・幼稚園に向かい、個性や自分らしさを活かした活動を自分たちで考えて行う、平成18年度から始まった体験活動です。



音楽の時間〈勝倉小〉

中根小学校での体験
勝田一中1年 賀谷光翔
ぼくが取り組んだ活動は、壁の習字の貼りかえ・算数の丸つけ・授業で使うプリントの印刷などです。中学校とは違って、一人の先生が全教科を教えているのが、改めて大変だと思いました。



楽器の演奏〈金上保育園〉



話し合い〈栄光幼稚園〉



雑巾かけ〈たんぼぼ保育園〉



中学生はお弁当〈東石川小〉

勝田一中校長 小森和男
この活動は、生徒たちが巣立った保育園・幼稚園・小学校で、園児・児童・そこで働く人々との交流を通して、社会生活におけるマナーの大切さに気づき、新たな自己を発見することを目的としております。また、小中連携の視点から、他校の関心を集める活動にもなっています。

勝田一中1学年主任 寺門隆明
生徒たちは、約3カ月の準備期間を経て、思い思いの資料や学習用具を用意して体験に臨みました。自らの足跡を振り返ることで、今の自分を見直すことができました。お世話になった先生方に、成長した今の自分を報告する良い機会にもなりました。

栄光幼稚園 教諭
本園を卒園して7年が経ち、「学ぶFLYデー」として、来園してくれた生徒たちに会うことができ、とても嬉しかったです。それと同時に、園児の頃の生徒たちを思い出し、その頃と変わらない笑顔や恥ずかしそうな姿を見て、懐かしかったです。また、緊張しながらも一生懸命園児たちと接している姿に、成長を感じた一日でした。

三反田小学校長 福田敏克
中学生の手をしっかりと握って、運動場に遊びに行く1年生。問題の解き方を真剣に教わる高学年の児童。縄跳びが上手くできない子を、優しく励ます中学生。心も体も大きく成長した中学生に、驚く先生方。
「学ぶFLYデー」は、小学生も中学生も、そして先生方にも得るものが多い、素晴らしい行事です。



ノートチェック〈長堀小〉



あそび! 〈勝田第一幼稚園〉



昼休み〈三反田小〉



お礼の言葉〈三反田小〉



砂遊び〈野いちご保育園〉

勝田第一幼稚園に行つて勝田一中1年 丹野佳野
私は園児に、絵本の読み聞かせをしたり、手作りのプレゼントをあげたりしました。一緒に過ごしている中で、先生が常に園児の事を考えていて、園児も先生を信頼しているのが良く分かりました。

昭和42年からの小学校時代、今思うと笑ってしまうことばかりである。
クリスマスに唯一食べられるケーキ。それを、地元のガソリンスタンド(伊藤商店)で受付けていた。そのケーキを注文に行くのが私の重要な役目である。幼い私は、ケーキはガソリンスタンドで売っているとずっと思っていた。何とも素直な子どもであった。
風邪をひくと、普段食べられない豪華な物が食べられる。思い出は、枕元にあったプリンだ。美味しくて風邪もすく治ったものである。
同級生は私も含め、ほとんどが農家の子どもだった。家族旅行に行ったなど聞いたことがない。唯一旅行と言えば、年一回子ども会で行く「常磐ハワイアンセンター」。当時は「金風呂」があり、一番に入ったものだ。
時は流れ、現在はケーキもプリンもいつでも食べられ、家族旅行も海外へ行く時代となった。幼少の頃の笑ってしまう思い出。これもまた良き時代であった。



思い出のケーキ屋さん(伊藤商店)

心に残る思い出



三反田自治会 打越克己

地元の歴史

福島藩士の墓

中根小学校より南西約500m離れた中根堂山共同墓地に、福島藩士の墓があります。この墓は、元治元年(1864)「天狗党の乱」の際、天狗党鎮圧のため幕府軍の援軍として参加して、部田野原で戦死した福島藩兵の墓です。
石碑の裏側に、無縁仏と並んで自然石の墓碑が三基あります。いずれも風化がひどく碑銘を判読するのは困難ですが、勝田市史にその墓碑の大きさと碑面の文字が残されています。奥州福島板倉臣戦死連名として16人の戒名と名前が刻まれており、元治元年10月10日に戦死したことが分かります。
「天狗党の乱」は、幕末水戸藩内の諸生派と天狗党の戦いですが、部田野原の合戦は、各地の戦闘の中で最も激しいと言われ、双方に多くの死傷者が出ました。
中根城跡には、福島藩士や二本松藩士の幕府勢が駐屯していたため、初め戦死者の遺骸はこの近くに合葬されましたが、昭和初期ごろ村人たちによって、現在の共同墓地に改葬されました。



私のたのしみ



全国制覇を目指して！ 渡部 元二さん

薬師台にお住まいの渡部元二さん(71)に、好きな野球の話の伺いました。小学生の頃から野球が大好きで、ひたちなか市の会社に就職してからは「長堀ソフトボールチーム」に入り、仕事の合間に長年続けてきたそうです。

本格的に野球をやり始めたのは定年後で、「ひたちなか古希還暦軟式野球チーム」に入り、今はレフトを守っています。練習が週2回、その他練習試合や公式試合が合わせて年間30回位あります。昨年の水戸市長杯選抜古希軟式野球大会では、昨年全国1位だった「品川トータス」を破って優勝したそうです。また、春の茨城県大会で決勝まで勝ち残り、平成23・24年の青森と愛知での全国大会に連続出場しました。それまでも岡山や山口など数多くの全国大会に行き、活躍しています。「まだ全国優勝はできていないので、今年こそ新潟全国大会での優勝を目指し、練習しているところです」「チームの最年長者は82歳で、キャッチャーをしているんだよ。私もまだまだ頑張らないと・・・」と熱く語っていました。

「楽しみはたくさんあるな。じっとしているのが嫌だから」と言う渡部さんは、その他ゴルフ・カラオケ・将棋・野菜作りなども楽しんでいきます。筋肉質の身体と若々しい表情が印象に残りました。



ひたちなかクラブ

我が身と一銭

長堀松戸自治会
小林 一夫

「我が身をつねって他人の痛みを知れ」私が子どもの頃から大人になっても、母はずっと言っていた。一度自分の太股をつねったら、本当に痛かった。自分が栄光を勝ち取り有頂天で美酒に酔っていたとき、この言葉が心をよぎったことがあった。勝者の蔭に隠れて涙に沈んでいる人がいることを、弱者の立場(私はこの方が多いが)に立って考える。母はそうした思いやりの心・周りの人への感謝の心が判る人になって欲しいと私に教えたのだ。

「一銭を笑う者は、一銭に泣く」この言葉も母が口癖のようによく言っていた。「小銭だと思つて粗末にするな。お金を大事に」との母の願いだっと思う。明治生まれの母は、少女時代に苦勞をしたらしいが、敢えて自分から生い立ちを話したことがない。しかし、自らの生き方から滲み出たのが、我が身と一銭の二つの言葉だと思ふ。そして子どもに伝えながら、自分自身に言い聞かせてきたのではないだろうか。

富士山を 追いかけて

西中根自治会
磯崎 晃

空模様を眺め、雲の様子を観察する。パソコンに向かい、都庁や三つ峠・山中湖などのライブカメラをチェックする。11月から2月末まで、これが私の日課である。「よし、行くぞー」いそいそとカメラバックを担ぎ車に乗り込む。今日のご機嫌はどうだろうか、姿を見せてくれるだろうか。一抹の不安とワクワク感・期待を込めて日没を待つ。私が富士山の追っかけを始めたのは三年前だ。筑波山から見た、裾野を広げた雄大な富士山の姿



行方市から霞ヶ浦越しに見る富士

に虜になってしまった。富士山頂に太陽がかかる「ダイヤモンド富士」を知ったのもその頃で、自分でも撮影してみたいという気持ちにかられ、私の挑戦が始まった。今シーズンには潮来市から行方市を訪れ、12勝4敗。姿は見えても、満足する撮影は今できていない。いろいろなポイント地点で、その土地の方々とのお話や、撮影に来ている人たちの情報交換は、楽しいひと時である。「今日も出かけるの」と家族の呆れ顔も何のその、私の富士山参りは続く。

1中3センター

雛人形を展示

1中3センターでは、1月末から館内の1階から3階までの空きスペースを利用して、雛人形を展示しました。これは、自宅で眠っている雛人形の提供を地域住民に呼びかけたところ、6人の方から無償での提供申し出があったもので、3月中旬まで利用者の目を楽しませてくれました。提供者の一人の方は「元氣な姿(雛人形)と20年ぶりに再開した。元氣でいてくれてありがとう」と嬉しそうに話していました。



地域のわだい

干し芋づくりに挑戦

長堀小学校

2月8日、ひたちなか市の特産物である干し芋づくりに、長堀小学校の3年生児童110人が挑戦しました。原料のさつま芋(玉豊)は、児童たちが苗を植え収穫した芋です。当日は、畑の提供者である学区内の海野富男さんが、蒸してきてくれました。湯気の立つさつま芋に児童たちは、大喜びでした。

熱いうちに皮をむき、ピアノ線を張った芋切り器に通して、上手に薄く切れるたびに大きな歓声が上がりました。

「早く食べたいな」と、切った芋を1枚1枚丁寧にすだれに並べていました。食べるのを楽しみに、干し上がるまでの10日間出し入れするなど皆で世話をします。



厄払いの豆まき

金上地区

2月3日、金上山不動堂の年中行事の一つである「節分会」が行われました。この行事は毎年2月3日節分の日に行われています。(主催 戒珠山華蔵院、主管 金上山不動尊興隆会)

金上山不動堂の落成式(平成6年7月)後は毎年戒珠山華蔵院から住職を招いています。子どもたちの下校時間に合わせ例年2回豆まきが行われますが、今年は日曜日ということで1回となりました。当日は花火の合図で始まり、護摩祈祷の後、厄年・還暦・年男・年女・特殊祈願の人たちによる豆まきが行われ、子どもたちが喜ぶお菓子もまかれました。

日差しも暖かい日和の中、福を求めて集まった老若男女200人程の人たちは、笑顔にあふれていました。



無病息災を祈って! どんど焼き

西中根自治会

1月12日、ライスセンター近くの田んぼで西中根恒例のどんど焼きが行われました。前日に、地域の有志の皆さんが安次郎作さん所有の山から竹を切り出し、当日は、「西中根ソフトボールクラブ」の会員も加わり朝から同氏の田んぼにやぐらを立てました。「西中根女性セミナー」の会員は、かまどで甘酒・焼きめざし・海苔餅などを作り、集まった人たちに振舞いました。また、持ち寄ったしめ飾りや門松は、会員がプラスチックや針金など燃えないものを取り除いてから、やぐらの周りに飾りました。

12時にやぐらの周りに集まり、重田自治会長の挨拶。火入れ棒を持った子どもたちが一斉に火を付けると、やぐらはあっという間に炎に包まれました。風のない穏やかな日より炎はまっすぐ高く伸び、参加者は幸せな1年を予感したひとときでした。

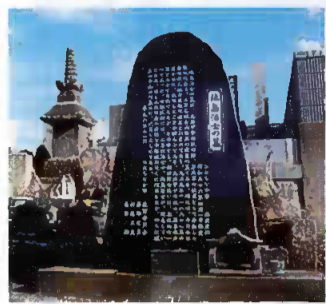


わたしの散歩道

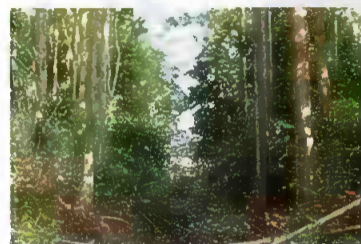
今回は、県道「水戸勝田那珂湊線」南側に広がる台地中根下区地域を紹介します。この地は虎塚古墳を筆頭に、古代からの史跡が多く残る所です。歴史を身近に感じながら、歩いてみませんか。「埋蔵文化財調査センター」や「鹿島神社」の駐車場に車を停めて歩くと便利です。

参考・市教育委員会「散策マップ」

一中根の史跡めぐり



中根堂山共同墓地内にある石碑



林の中に、中根城の空堀跡が残っています。



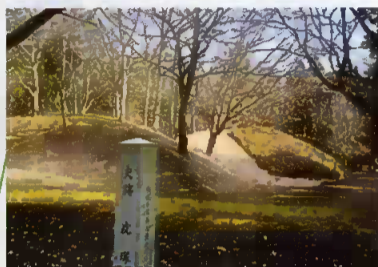
鹿島神社の裏山から、今は浸み出す程度ですが昔は宮瀧と呼ばれるほど水が流れ出ていたそうです。



今でも、畑から土器のかけらがみつかることがあるそうです。



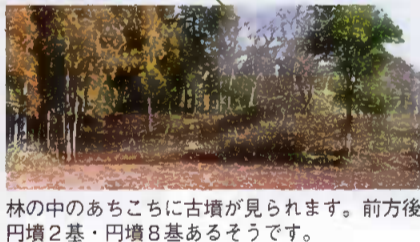
畑や家々の間に見られる古墳跡。不思議な光景です。



調査中の横穴墓群



十五郎穴の敷地に立つ碑。昔はここまで海だったとか。広々と広がる田園の向こうに高速道路と那珂湊の町が見えます。



林の中のあちこちに古墳が見られます。前方後円墳2基・円墳8基あるそうです。

部会だより

青少年部会

1月12日、長堀小学校でまゆ玉作りが行われた。60人ほどの参加者が交代で餅つきをして、勝田一中合唱部の歌を聴きながら、つきたての餅を食べた。用意された枝に、白桃、緑色の餅を一生懸命に飾り付けていくと、枝に花が咲いたようになり、参加した子どもたちは歓声を上げた。このまゆ玉は、学校の他に1中コミセンのロビーにも飾られた。



文化部会

2月2日の芸能音楽祭は、例年通り文化部会が企画・運営を担当した。11月頃から出演申し込みを受け付け、本番は時間が限られておりリハーサルもないため、舞台準備の時間②所要時間③出演人数④同じ種目を続けないなどを考慮してプログラムを作成した。開催前日は会場の準備を行い、当日は役割分担を決めコミセンの方々の協力を得て実施した。



体育部会

2月10日、市総合体育館でインディアカ大会・ファミリーバトミントン大会が、各9チーム参加して開催された。



結果報告

- *インディアカ
 - 優勝 金上B
 - 準優勝 駅前南B
 - 3位 三反田ルーキー
- *ファミリーバトミントン
 - 優勝 長堀A
 - 準優勝 中根NKM36
 - 3位 中根上区2班



環境部会

2月12日、長堀小学校4年生91人を対象に「ぼかし作り」の講習会を実施した。ぼかしは、EM(有用微生物群)活性化液と米ぬか・もみがらで作る。みんな材料を混ぜ合わせて作ったぼかしを、ビニール袋に入れて持ち帰った。子どもたちは、このぼかしを使って家庭で生ごみを堆肥に変え、野菜や草花の肥料にすることを学んだ。



編集後記

嬉しいニュースです。茨城県教育委員会・茨城新聞社主催による「平成24年度第24回茨城県教育広報・NIEコンクール」の第3部門に「広報紙「ふれあい」」が優秀賞に選ばれました。平成19年度にも同コンクールで入賞しているため、今回は2度目の受賞です。これも地域の皆様のご支援によるものと、委員一同深く感謝しております。

